

自分らしく輝く

子どもたちのヒーロー 保護者の気持ちにも寄り添う

認定こども園みどりのかぜエデュケーター 平 大輔さん(43)

※2026年3月時点



子どもたちとの外遊びで活躍

保育教諭として約20年間のキャリアを積んできた平大輔さん。この道を志したきっかけは、自身が子どもの頃、保育園にボランティアとして来ていた男性大学生との触れ合いでした。「一緒に遊んでくれたり、ギターを弾いてくれたりと憧れの存在でしたね」。母が保育士だったこともあり、自然と子どもと接する仕事がしたいと思うようになりました。

現在は3歳児のクラスを担当し、一人一人の自主性を育てたいという思いを持って、子どもたちとの体を動かす遊びでも活躍。小学生の頃からサッカーを続けてきた経験を生かし、毎日のようにサッカーをしたり、ボール遊びや鬼ごっこをしたりしています。「外遊びは子ども同士の関わりを育みます。自分の経験から体を動かす楽しさを伝えていきたい」。そう語る平さんは、子どもたちにとってまさに「ヒーロー」のような存在です。

一人一人の自主性を育てたい

平さんは園児の父親による「ファザーズチーム」の担当でもあります。ファザーズチームは、ペンキ塗り

や草刈りなど園内の環境整備の手伝いをしたり、時には行事の準備や出店、ステージ出演をしたりと大活躍。行事の後は懇親会もしているそうです。

これらの活動を通して、普段はなかなか顔を合わせることがないお父さんとも自然と会話が弾みます。「私も3児の父であり、お父さんの考えや悩みを聞くと共感できることが多いです。コミュニケーションを通して少しでもお父さんの気持ちが軽くなれば」と平さん。子どもたちだけではなく、保護者の気持ちにも寄り添うことも日々大切にしています。

そんな平さんですが、20代の頃に一度保育教諭の職を離れ、別の仕事に従事。2年後に元の職場に再就職しました。一度離れたからこそ、保育教諭の仕事の素晴らしさを身をもって知ることができたそうです。「子どもたちの成長を間近で見られるのが何よりの喜び。一人一人が何かに集中したり、自分の好きなものに夢中になったりと自主性を持てるような関わり方をしていきたい」と力強く語ってくれました。

たいら・だいすけ 1983年2月、三戸町生まれ。八戸短期大学幼児教育学科(当時)を卒業後、学校法人鳳明学園を経て社会福祉法人みつは会に入職。趣味はサッカーとツーリング。



WITH YOU

No.56 春号 2026

男女共同参画社会を考える情報誌 WITH YOU

編集：株式会社デーリー東北新聞社
田名部瑠衣・出川のぶ・佐々木萌
イラスト：川口真莉恵 デザイン：三上真嗣

発行：八戸市
〒031-8686 青森県八戸市内丸一丁目1番1号
電話 0178-43-9217(市民連携推進課)